

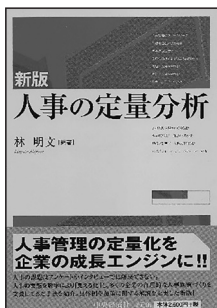
人事労務の棚に新たな小見出しをおすすめします！

働き方改革や、コロナ禍による環境変化により、従来の人事労務の実務とは異なる視点が必要になってきました。すでに「在宅勤務」や「同一労働同一賃金」といった小見出しをご準備されている書店様もいらっしゃいます。今回は、さらにもうひとつの小見出しをおすすめします。

ぜひ「データ評価」をテーマにお揃えください！

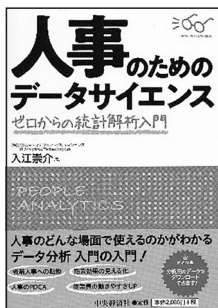
従来は画一的な労働時間、労働環境の職場が多く、評価基準は昔ながらの定性的なものでも事足りてきました。しかし、昨今の状況ではそれが通用しなくなってきた部分も多くなってきています。それら複雑になってきた働き方を管理するため、さまざまなシステムやサービスによって、働き手のデータがデジタルで収集できるようになりつつあります。

先進企業ではすでに多くの知見があり、当社刊行の下記書籍をはじめ、ご展開書店様ではロングセラーとなっているテーマです。別紙ご注文書で当テーマを揃えていただき、ぜひ新たな売れ筋テーマとしてください。



新版 人事の定量分析

2016年9月刊
978-4-502-19681-2



人事のためのデータサイエンス

2018年6月刊
978-4-502-26631-7



経営力を鍛える人事のデータ分析30

2016年9月刊
978-4-502-23771-3



人事データ活用の実践ハンドブック

2021年4月刊
978-4-502-38261-1



2030年の人事管理

2021年5月刊
978-4-502-38371-7